

～ Quick けあ Build 51 ピックアップ ～

今回ご提供させていただきます『Build51』について、Build50 から変更/追加された内容のうち、ポイントとなる項目をピックアップし、各システムに分けてご紹介いたします。なお、仕様変更など重要な項目も含まれておりますので、必ずご確認くださいませようお願い致します。

No	システム	内容	ページ
1	共通	日付コンポートネットを新しいタイプに変更いたしました。	2
2		介護報酬請求の媒体出力画面について以下の変更を行いました。 1. 媒体出力の①CSV データ作成と②媒体出力を統合 2. 媒体出力の環境設定でインターネット請求を選択した場合、ファイルを圧縮するにチェックをすると警告を表示させるよう変更	3
3		旧バージョンにあった「担当職員」「利用区分」「検索区分」を異動情報に追加（互換対応）いたしました。	4
4	定期巡回	定期巡回の初回加算を請求情報より期間指定で入力できるよう変更いたしました。	5
5	介護報酬請求	公費情報に「54：難病法」を追加し、様式第1の書式に記載欄を追加いたしました。	6
6	訪問看護（医療）	訪問看護（医療）の公費情報に「54：難病法」を追加し、レセプトに反映されるよう対応いたしました。	7
7		訪問看護（医療）の高額療養費算定基準額の所得区分の変更に対応いたしました。	9
8	訪問看護（医療） 不具合	訪問看護（医療）で公費と高額療養費が併用となった場合の適用順序の誤りを修正いたしました。	11

1. 日付コンポーネントを変更いたしました。

メニュー：共通

日付選択部分をクリックすると
下記の新しい設定画面が表示されます。

■期間指定型（開始日～終了日）の入力について
計画書の長期目標や短期目標の期間指定（終了日）をクリックすると、日付選択が簡単に選択できるようにも対応しております。

画面左側のパネルが表示されます

カレンダーをクリック

複数パターンから簡単に選択できます

画面左側のパネルが表示されます

カレンダー表示

- 平成25年8月31日（1ヶ月後の月末日）
- 平成25年10月31日（3ヶ月後の月末日）
- 平成26年1月31日（6ヶ月後の月末日）
- 平成26年7月31日（12ヶ月後の月末日）
- 平成27年7月31日（24ヶ月後の月末日）

No	利用者状況の一例
①	年号の選択を行います。上下の▲▼で一覧表示する年号を変更することができます。
②	元号を平成（元年）→昭和（元年）→大正（元年）とワンクリックで選択することができます。
③	指定月を選択します。
④	本日の日付をワンクリックで選択することができます。
	指定日を選択します。

2. 介護報酬請求の媒体出力画面について以下の変更をいたしました。

メニュー：請求->媒体出力

1. 媒体出力の①CSV データ作成と②媒体出力を統合
2. 媒体出力の環境設定でインターネット請求を選択した場合、ファイルを圧縮するにチェックをすると警告を表示させるよう変更

The screenshot shows the 'Media Output' screen. At the top, there is a 'Request Year' dropdown set to '平成27年1月' and a 'Environment Settings' button. Below is a table with columns for 'Business Number', 'Business Name', 'Output Status', and 'Output Date'. The table contains one entry: '1111111112' for '居宅介護支援センター'. A yellow callout box points to the table with the text '媒体出力の①CSV データ作成と②媒体出力を統合'. At the bottom, there are buttons for 'Select All', 'Cancel All', 'Request Data List', 'Print Request Documents', and 'Media Output (FD, CD, Transfer)'. The 'Media Output (FD, CD, Transfer)' button is highlighted with a red box.

■ 環境設定時の警告について

インターネット請求の場合、ファイルを圧縮しての送信が行えない為、環境設定時に圧縮タイプが選択された場合に警告が表示されます。

The screenshot shows the 'Environment Settings' dialog box. Under 'Media Selection', the 'Transfer (Internet Request)' option is selected and circled in red. Under 'FD or CD-R Data Output Method', the 'Compress' option is selected and circled in red. A 'Quick Check' dialog box is overlaid on the bottom right, containing a warning icon and the text: 'インターネット回線による伝送の場合、伝送ファイル圧縮有無を「圧縮しない」に設定する必要があります。このまま無視して設定しますか？' (When transmitting via an internet line, you need to set the presence of file compression for the transmission file to 'Do not compress'. Do you want to ignore this and set it as is?). The 'Quick Check' dialog has 'はい(Y)' and 'いいえ(N)' buttons.

3. 旧バージョンにあった「担当職員」「利用区分」「検索区分」を異動情報に追加（互換対応）いたしました。

メニュー：利用者情報->異動情報

(例) デーサービスの場合

利用者: ファミマしげお [1] 変更 本登録

区分 利用開始日 利用終了日
介護 平25.04.01

異動日: 平25年4月1日 異動区分: 利用開始 請求情報

利用開始/入所 週間スケジュール 居宅介護支援/介護予防支援 旧バージョン互換

担当職員: 通所 太郎
利用区分: 利用区分A
検索区分: (設定しない)

異動日	異動区分名
平25.11.08	利用変更(欠席等)
平25.11.08	利用変更(欠席等)
平25.11.08	週間スケジュール変
平25.04.01	利用開始

新規 削除

関連レポート 登録 取消

利用開始の履歴を選択

「担当職員」「利用区分」「検索区分」が「旧バージョン互換」のタブに追加されます。旧バージョンで入力していた情報も引き継がれています。

4. 76：定期巡回・随時対応型訪問介護看護の初期加算を請求情報で設定できるよう変更いたしました。

メニュー：利用者情報->異動情報

【例】居宅介護支援事業所で76：定期巡回・随時対応型訪問介護看護の初期加算を設定する場合

① 請求情報をクリックします。

② 新規をクリックします。

<異動情報画面>

③ 対象事業所を選択します。

④ 初期加算(平 24.04.01~) を選択します。

⑤ 算定期間を指定します。

指定した期間に自動で初期加算が自動算定されます。
 ※スケジュール画面上で予定や実績を入力する必要はありません。

【例】サービス提供票

提供時間帯	サービス内容	サービス事業者 事業所名	月間サービス計画及び実績の記録																																	
			日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
			曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
12:00 ~ 12:30	定期巡回随時I 1・日割	定期巡回事業所	予定																				1	1											6	
	定期巡回初期加算	定期巡回事業所	実績																				1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

5. 情報に「54：難病法」を追加し、様式第1の書式に記載欄を追加いたしました。

メニュー：利用者情報->公費

メニュー：請求->媒体出力

“54：難病法（平 27.01.01）”が追加されます。

【様式第1】

“54：難病法”が追加されます。

サービス種別	サービス種類名	サービス数	単位数	合計	請求額	特約	実額	公費	国庫
13	(介護予防) 訪問看護	0	0	0	0		0	0	0
14	(介護予防) 訪問リハビリテーション※病院または診療所の場合	0	0	0	0		0	0	0
31	(介護予防) 居宅療養管理指導	0	0	0	0		0	0	0
53	介護療養施設サービス	0	0	0	0		0	0	0
-	訪問看護（医療）	0	0	0	0		0	0	0
54	難病法	1	939	9,906	991		991	991	0
51	特定疾患等治療研究	0	0	0	0		0	0	0
81	被爆者助成	0	0	0	0		0	0	0
合計					991		991	991	0

【公費対象となるサービス】

サービス種別	サービス種類名
13	63 (介護予防) 訪問看護
14	64 (介護予防) 訪問リハビリテーション※病院または診療所の場合
31	34 (介護予防) 居宅療養管理指導
53	- 介護療養施設サービス
-	- 訪問看護（医療）

6. 訪問看護（医療）の公費情報に「54：難病法」を追加し、レセプトに反映されるよう対応いたしました。

メニュー：利用者（医）->医療公費情報

利用者: 訪問あやこ [94] 利用者編集 医療保険・公費一覧

適用期間: 公費
平27.01.01~平27.01.31 54 難病法

公費負担医療費等: 54: 難病法(平27.01.01~)

公費負担者番号: 54111111

公費受給者番号: 2222222

自己負担額あり 2500 円

自己負担額ありをチェックした場合
設定金額が訪問看護療養費明細書の公費負担金額に取り込まれます。

適用年月日: 平成 27 年 1 月 1 日

有効期限: 平成 27 年 1 月 31 日

新規 複写 削除

登録 取消

① 公費負担医療費等の「54：難病法（平27.01.01～）」を選択します。

② 負担上限月額のある場合は、上限額を入力して下さい。

※ 負担上限月額より他の医療機関及び薬局等で支払った金額を差し引きした残りの負担金額を入力して下さい。

例) 自己負担金額が 10,000 円で、訪問看護ステーションで残りの 4,000 円分を請求する場合。

A 医療機関： 2,000 (1/10 支払い)

B 調剤薬局： 2,000 (1/11 支払い)

C 医療機関： 2,000 (1/20 支払い)

自訪看 S T： 4,000 (月末) ← この金額を入力して下さい。

【レセプト記載例：】 自の訪問看護 S T で残りの負担金額 4,000 円を請求する場合

保 険 合 計	請 求	円※	法 定	円	負担金額	円	
	49,950				減額	割(円)	
		円※			免除=支払済		
		円※			4,000	円	※公費負担金額 円
		円※				円	※公費負担金額 円

補足：負担上限月額金額がある場合

利用者: 訪問 あやこ [94] 利用者名編集 医療保険・公費一覧 参照 本登録

適用期間 公費
平27.01.01~平27.01.31 54 難病法

公費負担医療費等: 54: 難病法(平27.01.01~)
公費負担者番号: 54111111
公費受給者番号: 2222222
 自己負担額あり 2500 円

「自己負担額あり」をチェックした場合
設定金額が訪問看護療養費明細書の公費負担金額に取り込まれます。
自己負担額が0円の場合は未入力です。

「自己負担額あり」をチェックしない場合
公費負担率に応じた金額が訪問看護療養費明細書の公費負担金額に取り込まれます。

①初回の適用期間を1ヶ月間で設定します。
例) 平成 27 年 1 月 1 日~平成 27 年 1 月 31 日

適用年月日: 平成 27 年 1 月 1 日
有効期限: 平成 27 年 1 月 31 日

新規 複写 削除

②複写をクリックします。

利用者: 訪問 あやこ [94] 利用者名編集 医療保

適用期間 公費
平27.02.01~平27.02.28 54 難病法
平27.01.01~平27.01.31 54 難病法

公費負担医療費等: 54: 難病法(平27.01.01~)
公費負担者番号: 54111111
公費受給者番号: 2222222
 自己負担額あり 2500 円

「自己負担額あり」をチェックした場合
設定金額が訪問看護療養費明細書の公費負担金額に取り込まれます。
自己負担額が0円の場合は未入力ではなく「0」と入力してください。

「自己負担額あり」をチェックしない場合
公費負担率に応じた金額が訪問看護療養費明細書の公費負担金額に取り込まれます。

④翌月の自己負担額を設定します。

適用年月日: 平成 27 年 2 月 1 日
有効期限: 平成 27 年 2 月 28 日

③履歴が追加され翌月の1ヶ月間が自動設定されます。
例) 平成 27 年 1 月 1 日~平成 27 年 1 月 31 日

新規 複写 削除

登録 取消

7. 訪問看護（医療）の高額療養費算定基準額の所得区分の変更に対応いたしました。

メニュー：利用者（医）->医療保険情報

【設定方法】

①医療保険情報登録画面から特記事項から該当する区分にチェックを入れて追加します。

運用業務 → ケアマネジメントメニュー（訪看/訪看）

利用者: 看護事例① [132] 参照 本登録

適用期間: 平27.01.01~平27.06.30 保険種類1: 国保 本人家族: 本人

保険者: 405019 福岡市
 保険者番号: 405019
 記号・番号:
 生年月日: 昭和54年1月4日(現在 36歳) ※35歳
 適用開始日(※): 平成 27年 1月 1日
 適用終了日: 平成 27年 6月 30日
 保険種類1: 1: 国保
 保険種類2: 1: 単独
 本人家族区分: 2: 本人
 給付割合: 10 9 8 8(9) ※ 7 その他 割
 ※自己負担割合の据置で実質自己負担割合が1割
 職務上の理由: なし 1: 職上 2: 下3 3: 通災

特記:
 28区ウ

※選択値は保存されません

01公	17上位	26区ア	31多ア
02長	18一般	27区イ	32多イ
04後保	19低所	<input checked="" type="checkbox"/> 28区ウ	33多ウ
10第三	20二割	29区エ	34多エ
16長2	21高半	30区オ	35多オ

新規 複写 削除

登録 取消

特記	平成27年1月以降の高額療養費の所得区分 ※70歳未満の被保険者
区ア	標準報酬月額83万円以上
区イ	標準報酬月額53～79万円
区ウ	標準報酬月額28～50万円
区エ	標準報酬月額26万円以下
区オ	低所得者

“多ア～オ”の区分は、上記の条件に加えて特定疾病給付対象療養費高額療養費多数回該当の場合に適用となります。

【レセプト記載例】区ウ（標準報酬月額 28～50万円の場合）

氏名	看護事例①	特記
性別	1男	
生年月日	3昭54年1月04日生	
訪問した住所	福岡市博多区博多駅東2-4-16	28区ウ
職務上の事由		

②高額療養費の適用開始日が、平成27年1月1日以降であれば新しい所得区分に変更されますので該当する所得区分を選択し、登録してください。

利用者(共) -> 高額療養費(共通/共通)

利用者: 看護事例① [132] 変更 本登録

適用期間: 平27.01.01~平27.01.31 | 年齢区分: 70未満 | 所得区分: 低所得

生年月日: 昭和54年1月4日(現在36歳) ※35歳

適用開始日(※): 平成 27年 1月 1日

適用終了日: 平成 27年 1月 31日

年齢区分: 70歳未満 70歳以上

所得区分: 標準報酬月額28万~50万円 (複数回該当)

標準報酬月額83万円以上
標準報酬月額53万~79万円
標準報酬月額28万~50万円
標準報酬月額26万円以下
低所得

新規 複写 削除

適用開始日が平成27年1月1日以降の場合に、所得区分のリストが新しい所得区分に変わります。

レセプト記載例：区ウ（標準報酬月額 28～50万円の場合）

訪問日											特記事項	
	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	
	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	
	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞	㉟	㊱	
保険会社計	請求	円	※	決	定	円	負担金額	80,139	円	※		
	270,850						減額	割(円)				
							免除・支払相子			※公費負担金額	円	円
										※公費負担金額	円	円

8. 訪問看護（医療）の公費と高額療養費が併用となった場合の適用順序の誤りを修正いたしました。

訪問看護（医療）請求

訪問看護（医療）で公費と高額療養費が併用となった場合、適用順序が下記の通り誤って設定されておりました。

バージョンアップ前（誤）：公費→高額療養費
バージョンアップ後（正）：高額療養費→公費

公費が先に適用されることで公費と高額療養費が併用となった場合、療養費明細書の負担金額が記載されない状態となっておりました。
大変申し訳ございませんでした。

合 計	保 険	請 求 81,190	円※	決 定	円	負担金額 8,000 円 減額 免除・支払猶予 割(円)	円	※高額療養費	円
	公 費		円※		円		円	※公費負担金額	円
	公 費		円※		円		円	負担金額	円

公費と高額療養費が併用となった場合、負担金額が表示されていない状態でした。